

「いきいきヘルシースポーツのつどい2002」

実施!!

桜が真っ盛りの3月31日、イベントが開かれました。午前中は沢松奈生子氏の講演会、午後はグラウンドゴルフ競技大会、ペタンク、シャッフルボード、フロッカー、バウンドテニス、卓球、などニュースポーツの体験が、なごやかに行われました。

計画が無事に終了することが出来たのは準備万端ととのえ、当日の運営にかかわられた多くの方々のご努力と、ご参加下さいました皆様の積極的なご協力の賜物と思います。

★ 講演会「ウインブルドンの風に誘われて」



会場入り口の壁面はドライフラワーの花束でアーチの様に飾り付けられ、今日の演題にふさわしい雰囲気醸し出していた。

定刻、既に400名近い聴講者が席に着く場内に司会者の声の流れ、先ず中島代表が挨拶に立った。

「本日のイベントは、高齢者がヘルシーライフを生きること、世代間交流に役立つことを願って計画したものです。」とその主意を説き、続く沢松奈生子(元プロテニスプレイヤー)講師のご紹介、ご講話への期待が話された。

聴講者の視線が一斉に集中する中、バラの花が活けられた演壇に登られた沢松講師はさわやかな張りのある声で静かに語り始められた。お話は、講師がウインブルドンを目指すようになったそもそものきっかけに始まり、小学校時代を過ごしたドイツでの生活体験、その後の豊富な選手体験談、これらを可能にした幼児期の厳しい家庭での躾や集中力養成法、目先の目標をひとつひとつ“もの”にする堅実なアプローチ等時々笑いを誘いながら尽きることなく話題が登場した。何時の間にか場内に静かな緊

張感がみなぎり、聴講者が無意識に引き込まれると言う素晴らしい雰囲気が漂っていた。

講師究極の目標である…ウインブルドンのセンターコートに立つ…が実現し、人生の次なるステージに迷いを抱きながら旅先で出会った「貴女しか咲かせない花を咲かそう」と言う何気ない言葉に人生の転機(プロ引退)を決断したエピソードは、いさぎよい話として印象に残った。最後の質問タイムも率直な対応で、名残惜しいエンディングだった。

★ 軽食コーナー

「ふれあい広場」に設けられたこのコーナーは、窓越しの中庭を背にコーヒー、飲み物、おでん、おにぎり、カレー、緑茶、クッキーと多彩な売店が机を接して並び、その前に配置された120席の机・椅子が来客の飲食とくつろぎの場を提供していた。

中でもコーヒー店は開演前からおいしそうな香りを辺りに撒き散らしていた。中島代表のPRが効いたのか、本番のランチタイムは満席の盛況で、特に「おでん」の売れ行きは群を抜いたように聞く。

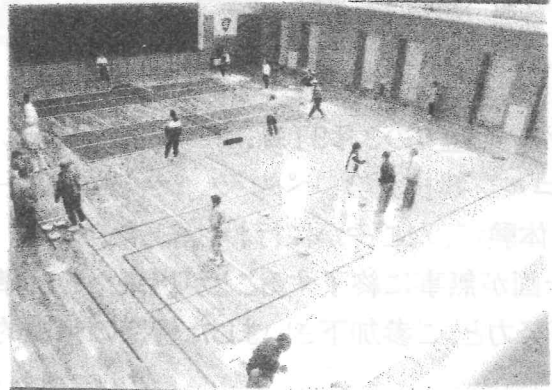
ご利用の皆さん有難うございました。ご健闘いただいた諸姉諸兄にはご苦労様でした。

★ ニュースポーツ体験コーナー

中庭のペタンクのコートは前日から準備が出来上がっていたが、カレッジホール内は講演会の後、いち早く椅子を取り片付けてシャッフルボード、フロッカー、バウンドテニスのコートがそれぞれ2面づつ設けられた。

これはランチタイムを通じて行われた短時間の作業で、担当の方々には気忙しいことだったと思う。12:30頃(勿論定刻前)から来客の姿がみられ、説明を聴き器具に手を触れ更にはコートに入られるのを見るようになった。結果として各種目とも延べ30~40名の方が楽しまれた実績が残っている。

最後に訪れた卓球コーナーはさすがに手馴れた方々が賑やかに丁丁発止とラリーの最中だった。ここでは主催者の意図がしっかりと参加者の皆さんに受け止められている確かな手ごたえを感じた。



★ グラウンドゴルフ競技会

会場の芝生広場はその周辺部が粗密はあるが緑の木立に囲まれた広々としたところで、北辺は満開の桜が群れて遠目には花霞のように美しかった。天気にも恵まれたので花霞の辺りは勿論のこと、木陰や木立の中ではあちこちに家族やグループ団欒のシートが和やかに広げられていた。

午前10時より初心者の方の指導を中心とした実技の説明と練習をしていたところをNHK神戸局が来訪しテレビの収録が



行われ、熱心に練習する人達の姿など1時間近く撮影をしていた。

(この模様は当日夜、9時前の関西のニュース時に放映され、インタビューに2人の方がにこやかにスポーツの楽しさを強調していた。)

午後からの競技会はKSC現役チーム(3)・近隣地域の一般チーム(4)・グループ“わ”の各代表チーム(9)の計16チームが試合に参加した。2ゲームの予定であったが、ゲーム一巡のほんのひと時にわか雨に見舞われ前半終了後継続を断念させられると言うハプニングに出遭ったが、幸い全体の運営に不都合をもたらすことも無く、親睦と交流の意図は十分に達せられた。

なお成績は、優勝:星和台寿会チーム 準優勝:ひよどり台チーム 三位:KSCチームでした。

★ 募金活動

当日講演会の受付時において国際部会が中心となり、アフガニスタン大震災に対する募金箱を設置して呼びかけたところ1万円の浄財が集まりましたので、早速日本赤十字社に持参致しました。

ご協力有難うございました。

(広報部、坂口泰宏)

バウンドテニスは生涯スポーツ

スポーツを長続きさせる秘訣は、大勢の仲間と楽しく行う事です。テニスと同様のルールで、狭い場所でも手軽にでき運動量もあるスポーツとして、『バウンドテニス』はいかがですか。

人々が健康な生活を送るために、スポーツ活動に参加することは、身体に活力を与え、心に豊かさをもたらし、更には地域社会における人と人とのコミュニティーづくりにおいても最良の手段のひとつであると思います。そこで「いつでも」「どこでも」「だれでも」楽しめる生涯スポーツとして、私どもが普及に努めているのが

『バウンドテニス』です。

わかりやすくいえば“テニスのミニ版”で基本ルールはテニスと同じです。ラケット、ボールともテニス用より小さいものを使用するため、体育館・コミュニティーセンター等で手軽に楽しんでいただけます。



運動不足解消、体力作りはもちろんのこと、バランス感覚、敏しょう性、持久力を養うのに最適なスポーツといえます。

3月31日(日)の「いきいきヘルシースポーツのつどい2002」でも紹介させていただきました際にも、体験コーナーに於いて大変たくさんの方々が参加され、十分に楽しんでいただけた事と思います。このように、誰でも気軽にプレーできるのも魅力のひとつです。

多くの方からシルバーカレッジでは

非クラブがほしいとの要望がありました。

楽しい『生涯スポーツ：バウンドテニス』にあなたもチャレンジしてみませんか

兵庫県バウンドテニス協会本部事務局

姫路ヤクルト販売(株)内(井平洋子)

電話 0792-92-8960

本部より

グループ“わ”の説明会

平成14年1月9日、午前中3年生の共通授業時間(出席者数250名)にカレッジホールに於いて、“わ”の活動状況について発表する機会を得ました。

最初に中島代表より、日頃から“わ”とは何か、どんな事をしているのか、どんな活動なのか、よく解らないという声を聞いているので、その点に留意した話があった。

- 1) 平成9年7月22日、卒業生の自主的な活動グループとして、シルバーカレッジの建学の精神である“再び学んで他のために”則って誕生した。
- 2) 現在の会員は1期生から5期生までの有志725名が所属しており、組織としては地域活動グループと部会活動グループがある。
- 3) “わ”に加入すると全員が地域(各区)活動グループに自動的に所属することになります、活動は各区のボランティアセンターに登録し、連携して行っている。
- 4) 部会活動グループは各人が在学中に経験したボランティア、特技、趣味などを活かした活動を引き続き行っている。福祉、国際、環境、文化、いきがい、の5部会に登録(重複も可)して頂く。
- 5) 要請の内容により地域と部会とが、うまく連携して行うボランティアが沢山ありますので、これをうまくマッチさせて活動を進めているところです。
- 6) グループ“わ”と校友会との違いなど……丁寧に説明があった。

次に部会長及び地区委員が出席者全員に配布したグループ“わ”の活動紹介を基に説明と勧誘を行いました。以下はその要約です。

福祉部会＝地味な活動ですが楽しい事もある、言葉より実行、まず参加をして欲しい。

国際部会＝現在の四つのグループ以外、新しい活動も大歓迎です。

環境部会＝楽しみながらボランティア活動が出来ます。

文化部会＝在学中のクラブ活動の延長が多い、無理をせずに気楽にやりましょう。

いきがい部会＝スポーツを通じ、地域の皆さんと楽しみながら活動しましょう。

東 灘 区＝メンバーが少ないが、力を合わせて活動の輪を広げている。

灘 区＝個人での活動が多いが、更に活発な活動を進めたい。

中 央 区＝月に1～2度でOK、時間と労力の提供をお願いします。

兵 庫 区＝「老後を楽しく」をモットーにボランティア活動とリクリエーションを進めています。

北 区＝最も会員が多い区です、楽しみ半分、ボランティア半分で活動しています。

長 田 区＝多くの人に加入してもらい、活動の輪を広げたい。

須 磨 区＝現活動を詳しく説明し、加入の要請を行った。

垂 水 区＝垂水会(親睦会)があるが、“わ”への加入を待っています。

西 区＝部会での個人活動が多いが、区として目玉となる活動を模索中。

「是非、皆様方の参画をお願い致します。」と呼びかけました。

新入会員の皆様へ(活動の集い)

平成14年4月15日 カレッジホールにおいてグループ“わ”六期入会者への説明会を開催したところ約150名の方が出席されました。活動の内容がわからない、わかりにくい、入会したが案内もないし何も言ってくれない、……等々の苦情を聞いているので今回の計画となりました。

午前10時より中島代表から

- ① グループ“わ”は何をするところか
- ② グループ“わ”の現在の機構とその役割
- ③ グループ“わ”の今後の指向

等について、より深く理解してもらう為の説明を行い、引き続いて各区運営委員が区ごとの地区活動概況について説明を行いました。

午前11時から 福祉、国際、環境、文化、いきがい、の各部会ごとに別教室に別れて部会活動について対話を行いました。

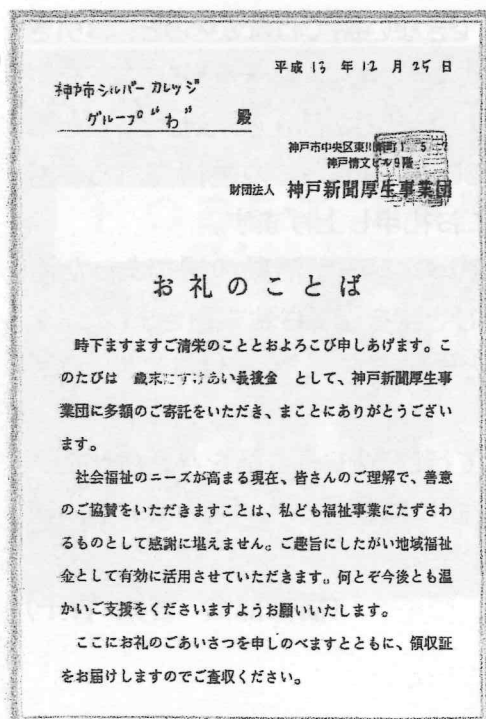
この度の説明会に欠席された方は 火曜日と金曜日に“わ”の事務局員が2階の事務所におりますので、そこに来られるか電話にて問合せをして下さい。

6期生のグループ“わ”入会状況(平成14年4月12日現在)

コース	福 祉	国 際	生 環	美 工	音 文	園 芸	食 文	合 計
人 数	37	45	45	5	16	34	14	196

(本部・豊村栄一)

歳末たすけあい募金活動に御協力感謝



このたび“わ”広報部の発案により、シルバーカレッジ年間行事予定表を組み込んだ、2002年カレンダーをパソコンで作成し在校生を対象に募金の協力をお願いしました。募金活動の日数が短く心配しましたが、おかげさまで5万円を超える御協力を頂きました。

いつも助成金や基金を戴く立場から提供する側の活動も併せて進めることも不可欠であります。

尚、浄財は12月25日・財神戸新聞社厚生事業団へ持参致しました。在校生を始め多くの皆様方に多大なご協力を戴き厚くお礼申し上げます。

誠に有難うございました。

(本部事務局)

チュニジア 市民応援団に協賛

神戸市シルバーカレッジ社会還元センター“わ”は来る6月5日に神戸でワールドカップの試合に出場するチュニジア チームを応援します。

チュニジアは地中海南岸の北アフリカにある小国ですが、海洋交易都市として栄えたカルタゴを神戸と重ね合わせ、小国ながら世界選手権試合に出場するたくましさ魅せられてチュニジア国を市民レベルで応援することになりました。

シルバーカレッジ1階ふれあいホール(通称ロビー)にチュニジア コーナーを設けてお国の紹介をまた、校舎正面壁に「シルバーカレッジはチュニジアを応援しています。」の横断幕を掲示して訪れる方々に神戸市民としての応援意識の高揚を図っています。

海外から神戸を訪れる方々が気持ち良く滞在して頂けるように市民の胸にホスピタリティーバッジ(お助け章)を付けその国の言葉で案内、説明が出来るようにする運動も合わせて行っています。

(本部・久保雅一)



部会活動

【福祉部会】

滝谷ホームの調理ボランティアを終えて

(社)神戸市手をつなぐ育成会よりシルバーカレッジを通じて“わ”の方への依頼があり、昨年2月11日(日)午後、岸副会長と藪野理事とに初めてお会いし、独断と偏見で、できない話ではなかろうと、お引き受けしました。内心では、これは大きな冒険だとビクビクの状態だったのですが、シルバーメイトに声をかけお願いしましたところ、多くの皆様のご協力のおかげで、5月7日より始めることができました。夏と年末年始にお休みもありましたが、計30回、延べ日数90日、延べ人数203名の方たちの愛情溢れるご協力により3月7日に無事に終了しました。紙面を借りて関係者の皆様にお礼申し上げます。

3月16日(土)、育成会のご好意により、同会の方、指導員、私どものメンバーが活動の場であった滝谷ホームで手作りのご馳走を囲み、反省会と慰労会を兼ねた楽しいひと時を過ごさせて頂きました。グループ“わ”の久保さんのキーボード演奏も雰囲気作りに花を添えたと思いますし、後片付けに関ってくださった方々にも感謝申し上げます。

今回の活動は、今後も同様な場があれば仲間と助け合って活動して行けるという自信を与えられた一年であったと思っております。企画、指導の皆様、グループ“わ”の皆様に感謝申し上げますと共に、体験利用者の皆様が、遅く、楽しい人生を歩んでくださるよう願っています。

(福祉部会 宮城 智子)

【国際部会】

国際車いすテニストーナメント



4月25日から5日間に亘って、「しあわせの村」のテニスコートで『国際車椅子テニストーナメント、KOBE Open 2002』が開催されました。国際部会から延べ22名がボランティアとして参加。テント張りから後片付けまで選手の皆さんに水、弁当、お茶等を配る支援を行った。海外から男性が8名、女子が6名参加していました。彼等が弁当等を受け取りにくる時おしゃべりをして正に国際交流を果たす事が出来たと思う。

ご存知のように、車椅子トーナメント大会の場合は2バウンドのボールを打つ事が出来ます。その他は健常者とまったく変わることなくかなりハードなスポーツと言える。否、彼等にとってはそれ以上にハードで、決勝戦等ではボールパーソンが配置されるがその他では配置されないようである。健常者のウィンブルドン等世界選手権

では二人のボールパーソンがネットのところに張り付いているが、車椅子の場合選手自身がボールを拾っている。これを見ると健常者は恵まれ過ぎと思う。

国際車椅子テニスにも世界ランキングあって、彼等は世界のトーナメントを戦うために世界を転戦している。因みに、日本男子の最高ランキングは斎田悟司が7級、女子では大前千代子が8級となっている。神戸大会も国際テニス連盟から公式に認可され、来年は第10回の節目の大会になるそうである。

(国際部会・黒田 宏)

【環境部会】

神戸市環境功労賞受賞について



昨年12月に行われた「KOBEエコ市民フェスタ」でグループ“わ”里山グループ代表の谷口 博氏が標記の表彰を受けられました。同氏は永年に亘って六甲山系のみどりについてご尽力され、またしあわせの村の開村時も村内の緑化について貢献されたことが評価されたものです。現在も里山グループの取りまとめに当たっておられます。おめでとうございます。

(環境部会 則武 勲)

(前列右から2人目・谷口氏)

ビオトープに春を迎えて

皆さんをしあわせの村のビオトープにご案内いたしましょう。本館を出て芝生広場を西に横切ると野外活動センター“あおぞら”との三叉路の車道に出ます。そのままキャンプ場への道を直進すると、すぐ右にキャンプファイヤー広場、水のみ広場と続いて、池を中心に草原・樹木も含めた広いビオトープが現れ、ケロケロケロとカエルの大合唱が迎えてくれます。今がトノサマガエルの産卵期なのです。



トノサマガエル

芦が刈られた明るい池の中では、メダカが泳ぎ回り、アカガエルとヒキガエルのオタマジャクシが孵り、アメンボ、マツモムシ、どじょうや多種類のヤゴも増えて春の池の中は超満員です。

草原ではマツバウンランの赤紫が咲き揃い、カラスノエンドウ、カキツバタ。ことしはやはり開花が早いのです。30種類200余本の樹木もヤマザクラ、ヒメリンゴが咲き、いっせいに芽だしをする落葉樹が新鮮です。常緑樹もヤブツバキを先頭に開花が続き、新緑に衣替えを始めました。



「落ち葉ンク」作り

平成7年、大震災のためしあわせの村の仮設住宅に入居された方々が、近くのこのビオトープを散策し、見知らぬ土地での寂しさを慰めておられたのでしょうか。

そのビオトープが5年間ほど芝刈り以外は自然放任状態であることを知り、村管理部署の緑地課へ“わ”の環境ボランティアの参加を申し入れ、管理をまかされました。

完成時の植物一覧表と、5年後の現状の大差にびっくり。構造上の難問は、やせ地に雨水不足ですから、毎年夏の干天で14種類1100本の野草、水草がレッドカード化し、反対にヨシ、ガマ、マコモ、ミソハギの4種が池を覆っていました。

樹木も枯れて減り、野鳥の食べる実ものが半減し、池の水面が狭まり、芝刈りだけは年3回も有り、広さの割には昆虫や水棲動物が少ないというのが第一印象でした。

3, 4期生のメンバー各自が、樹木・野草・昆虫・野鳥の知識も関心もまちまちでしたが、堆肥づくりに「落ち葉ンク」を作り、野草エリアの芝刈り中止、水面確保にヨシ刈り、実のなる苗木移植と手探りから始めました。昨春から5期生の参加で一挙に水棲動物への関心が増し、水の流入・水質管理に力を入れると、楽しみも増えつつ作業目標も定まりかけた一年でした。

公園ビオトープの理想には程遠い現状ですが、冬眠明けで忙しくなる春がやってきました。道具入れを兼ねたベンチが据えられたのがご褒美かと喜び、4月からは6期生も加わり、緑地課との合議、学習を含めて毎月第1・第3木曜日の午前中活動を続けてまいります。

野の花・オタマジャクシ・樹木の花・新緑・蝶・メダカ・カエルの合唱・トンボの乱舞・ドジョウ・木の実・紅葉・冬の渡り鳥・四季折々の楽しみがあるビオトープをぜひ一度お訪ねください。



夏のビオトープ

(奥口谷・目入山公園管理課)

(環境部会 坪井 幸子)

【文化部会】

少年鑑別所「加古川学園」を慰問して

家庭環境に恵まれなかった等の事情から、つい非行に走った多くの少年が、ここで更生のため日々勉学・訓練や各種の作業を行っています。私達 KSC 男声合唱団は、平成13年9月26日、マジック・人形劇ほたる座・銭太鼓のグループの人達と共同で慰問演奏を行いました。

後日、その時の感想文が少年たちから沢山送られて来ました。紙数の都合でその中から2通を紹介させていただきます。なお感想文は(漢字・ひらがなの別、誤字・送り仮名など)原文のままとしました。



(文1)

先日は僕達の為に、素晴らしい講演を行ってくれて有難うございました。一つ一つの講演に意味があり、心が温まりました。始めの男声合唱では、まだ慣れていない曲もあったということですが、そんなのはぜんぜん感じさせない美しいハーモニーだったので、すぐに聞いていました。マジックでは、笑いもあったのですが、驚かされる方が多く楽しかったです。人形劇では、人形の美しさと動きにビックリさせられ、友情の大切さが分かりました。銭太鼓は生まれて初めて見たのですが、とても綺麗で感動しました。講演の最後に歌を歌った時、僕の方がエネルギーを貰いました。あんなに素晴らしい講演を行うには、すごい努力をしたのだと思います。これからも、素晴らしい講演を、色々な人達に見せてあげられるよう長生きして頑張ってください。本当に、有難うございました。

(文2)

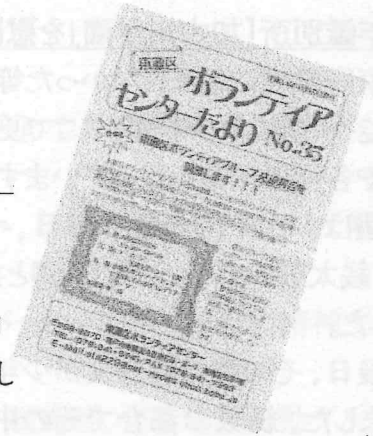
先日は、わざわざ加古川学園の方までお足を運んで頂き、本当に有難うございました。こんな僕達にあんな素晴らしい舞台を披露して下さい、とても感謝しています。時には真剣に驚かそうとしてくれたり、又楽しませようとしてくれたり、そんな舞台は僕達にとって優しさを感じるものでした。一生懸命の姿と笑顔がとても印象的で、今も鮮明に頭に浮かんで来ます。笑って楽しめて、又いろんな事を考えさせられる、そんな舞台の中でシルバーカレッジの皆さんと加古川学園の院生達がひとつになれたような気がしました。改めてではありますが、こんなあたたかく見守って下さる人達に囲まれて僕達院生は心から幸せだと思います。そう思うと同時にその気持ちを裏切らない為にも、必ずこの一年と言う院生活で更生し、立派に社会で活躍して見せます。今回披露して頂いた人形劇で学んだ事、思いやる気持ちや、大きなゆとりのある心を持つと言う事を目指して、これからつらい事や悲しい時、しんどい時を乗り越えて行こうと思います。本当にいろいろと勉強もさせて頂き、何よりたくさんの優しさを貰えたように思います。そしてシルバーカレッジの皆さんの今後のご活躍を心より応援したいと思っています。本当にありがとうございました。

(文化部会・今井洋太郎)

地域活動

【東灘区】

平成14年4月15日発行の「東灘区ボランティアセンターだより」に紹介された記事を転載します。(東灘区・西村笑子)



グループ紹介 神戸市シルバーカレッジ社会還元センター
グループ“わ”東灘地区委員会

神戸市シルバーカレッジ卒業生で構成されるグループ“わ”は全市的な規模のグループですが、今回はその中の東灘地区の委員会を取材しました。

取材時の活動は、特別養護老人ホームのクラブ活動の習字の指導とお手伝いでした。

ボランティアさんが二人で、クラブ活動に参加されている方一人一人の筆に手を添えながら、話かけながらのお習字です。黙々と一生懸命書続ける方、書きながらお話をされる方、いろんな方と明るく、丁寧に接していらっしやいました。

グループ“わ”の活動内容は、他にも手芸の指導、琴や銭太鼓の演奏、小学生と一緒に昔遊び、など多岐にわたります。また、東灘だけではなく、要請があれば他区にも行かれるそうです。今回も、東灘の方とピンチヒッターということで須磨区の方が来られていました。その行動力には頭が下がります。

意欲的に活動の場を増やしていこうとされているので、まだまだ活動範囲は広がりそうです。

いろいろと活動についてお話していただき、ボランティアされる側も、する側もお互いに得るものがあり、楽しみがあるということがわかりました。今後も、ボランティアさんの元気と明るさをたくさんの人に分けていただきたいと思います。(取材 井上)

【長田区】

2月9日(土)長田区役所前広場で、恒例のイベント「ゆきまつり」が催されました。心配をしていた天候も快晴に恵まれ、早朝より岡山県の東栗倉村のご好意で運ばれてきたトラック3台の雪30トンが広場にうず高く積まれていました。(ことしは暖冬?で例年より雪が少ないとのことでした。)

10時から始まる「ゆきまつり」行事も、すでに集まっていた子供達は雪山に黒だかり、関係者の挨拶も馬耳東風で、はや雪合戦に歓声をあげていました。広場の周囲のテント



では東栗倉村の郷土特産品や野菜の即売、また地区町民のボランティアによる餅つきやわた菓子屋台が親子連れの大蛇の列で賑わっていました。雪山では子供達が雪だるまやトンネルを掘ったりで、我々グループ“わ”(4名参加)はソリによる雪滑りの子供達のお守り役を駒ヶ林中学の生徒と一緒に担当し、一人の怪我児童も出ず無事に役目を終えました。14時頃、長田神社の氏子による和太鼓演奏で楽しい「ゆきまつり」は終了しました。(長田区・坂田良一)

【垂水区】

シルバーカレッジ『垂水会』

シルバーカレッジ『垂水会』はシルバーカレッジ設立の趣旨にもとづき、会員相互の親睦、健康の増進及び知識の高揚を図るとともに、地域社会における福祉活動を行う為、垂水区在住のシルバーカレッジ卒業生で構成されています。

『垂水会』には、研修見学部・地域活動部・旅行懇親部・体育文化部の四部門があり、それぞれに企画し、会員相互の親睦を図っています。

☆ 地域活動部においては下記のボランティア活動を行っています。

- 舞子ガイドボランティア
舞子駅周辺において道案内、毎週土・日曜・祝（雨天中止）四人編成で午前の部・午後の部2交替、現在16班です。
- 美緑花活動（清掃）
毎月20日に行います。（雨天中止・参加自由）
舞子駅周辺の清掃、年2～3回神戸市よりクリーン作戦（清掃）依頼があります。
- のぼら学園散歩ボランティア 毎週水・木曜日（雨天中止）
就学前の幼児（軽度の知的障害児）近くの公園及び保育園まで、手を繋いで散歩をします。
- 他に、垂水区ボランティアセンター・まちづくり推進課よりボランティア活動の依頼があります。上記の通りボランティア活動を行っていますので、多数の参加をお待ちしています。



垂水地区の活動紹介

シルバーカレッジの垂水会では、昨年11月29日（木）に晩秋の但馬路を訪ねて恒例の懇親「日帰りバス旅行」を実施しました。

当日はあいにくの天気を気にしながら、大型バス2台に63名の方が参加して垂水を出発しました。まず、但東町赤花の「赤花そばの郷」へ立ち寄りつなぎを一切使用していないそば粉100%のそば打ち体験をしたあと、自分達で作ったそばを賞味、普段味わえない美味のそば、そばおにぎりの格別の味に満足！

次は「日本モンゴル民族博物館」へ。モンゴル国の民具・民芸品・恐竜の卵の化石が展示され、館員からモンゴルの歴史、文化についてくわしく説明があり良く理解できました。

あと豊岡市の「コウノトリの郷公園」へ寄り、コウノトリの野生復帰に取り組む施設でコウノトリの観察と説明を聞きました。



帰途和田山の土産物店へ寄る頃には雨となりました。帰りの車中で参加者全員にアンケートをとりましたが、大満足で良かったとの意見が多くあり、楽しい一日でした。 （垂水区・吉井 正晴）

垂水会、恒例のグラウンドゴルフ大会実施

過去、計画をするたびに雨のため中止となつてましたが、2月25日に久々に春を感じさせる陽気の中、アジュール舞子において22人の参加者を得て和気あいあいのなかで、快い汗をかくことができました。

当日はグループ“わ”のクラブも借用して、誰もが気兼ねなく日頃グラウンドゴルフをされていない方も参加して、ふれあいの場が持てたように思います。当日の参加者の中からスポーツの集い開催日に行われる大会出場者を選出しました。

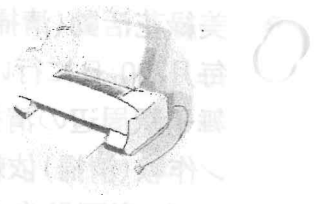
なお、優勝者は、大崎輝雄さん(29、23計52)でした。

(垂水区・赤坂 稔)



パソコン講習のご案内

- ★ 第1, 2回申込受付:5月20日(月)~27日(月)
- ★ 第3, 4回申込受付:7月 8日(月)~15日(月)
- ★ 申込方法:FAX(743-8103) 又はグループ“わ”宛てハガキにて
- ★ 受講資格:グループ“わ”会員・(応用コース受講はパソコン所有者方のみ)
- ★ 定 員:各コース共10名
- ★ 第1回:入門コース(初歩から文書作成)(受講料:5,000円 講習時間:15:00~16:30)
6/19(水)・6/20(木)6/21(金)・6/24(月)・6/25(火)・6/26(水)・6/27(木)・6/28(金)
- ★ 第2回:応用コース(暑中見舞いハガキ作成)(受講料:3,000円 講習時間:15:00~16:30)
7/8(月)・7/9(火)・7/10(水)・7/11(木)
- ★ 第3回:応用コース(デジカメ撮影からプリント)(受講料:3,000円 講習時間:15:00~16:30)
9/9(月)・9/10(火)・9/11(水)・9/12(木)
- ★ 第4回:応用コース(年賀ハガキ作成)(受講料:3,000円 講習時間:15:00~16:30)
11/11(月)・11/12(火)・11/13(水)・11/14(木)



編集後記

前号発刊後、約半年が過ぎました。5月17日の総会時には間に合うようにと、皆様方のご協力によりようやく18号発行の運びとなりました。

平成14年度は人心一新、新たな顔ぶれでグループ“わ”の運営が始まります。

本部からの伝達事項および地区活動、部会活動に関する情報を、よりキメ細やかにお知らせする“情報ぎやらりー”は活動の趣旨、要請、宣伝などに大きな役割を果たしていると思います。

これからも多数の皆様方のご投稿により、紙面いっぱい賑やかになることを期待しています。

(広報部)